

# 神鋼商事株式会社

2025年度 決算  
2026年度 計画  
説明資料

CONTENTS

サマリー

## 2025年度 決算概況(前年比)

- 建設向け鋼板の取扱減、鋼材価格の下落により売上高が減少
- 経常利益は110億円、政策保有株式売却益により当期純利益は3億円減少に留まる
- 収益性の低下によりROEやROICは悪化 健全性を示す自己資本比率は上昇
- アルミニウムの国内資源循環・石炭代替バイオマス燃料製造等への成長投資を決定
- 配当は、中間配当53円、期末配当53円の106円

## 売上高

6,081 億円

前年比：▲90 億円

## 経常利益

 110 億円

前年比：▲7 億円

## ROE

 8.7 %

前年比：▲1.0 %

## 自己資本比率

 25.8 %

前年比：+2.2 %

## 営業利益

116 億円

前年比：▲16 億円

## 親会社株主に帰属する当期純利益

83 億円

前年比：▲3 億円

## ROIC

 5.1 %

前年比：▲1.0 %

## 配当

106 円

## 2026年度 業績見通し

- グローバル日系自動車生産は前年並みを想定、鋼材価格は下期にかけて上昇、アルミ・銅地金価格は26年度も高水準を維持、半導体装置関連は回復を見通し、売上高は、前年比779億円増収の6,860億円
- 経常利益は、カーボンニュートラル関連の機械・設備需要が旺盛であること等から5億円増益の115億円、当期純利益は7億円増益の90億円を計画
- 配当は、記念配当含む 年間130円（前年比+24円）

## 売上高

6,860 億円

前年比：+779 億円

## 経常利益



115 億円

前年比：+5 億円

## ROE



9.0 %

前年比：+0.3 %

## 自己資本比率



26.0 %

前年比：+0.2 %

## 営業利益

121 億円

前年比：+5 億円

## 親会社株主に帰属する当期純利益

90 億円

前年比：+7 億円

## ROIC



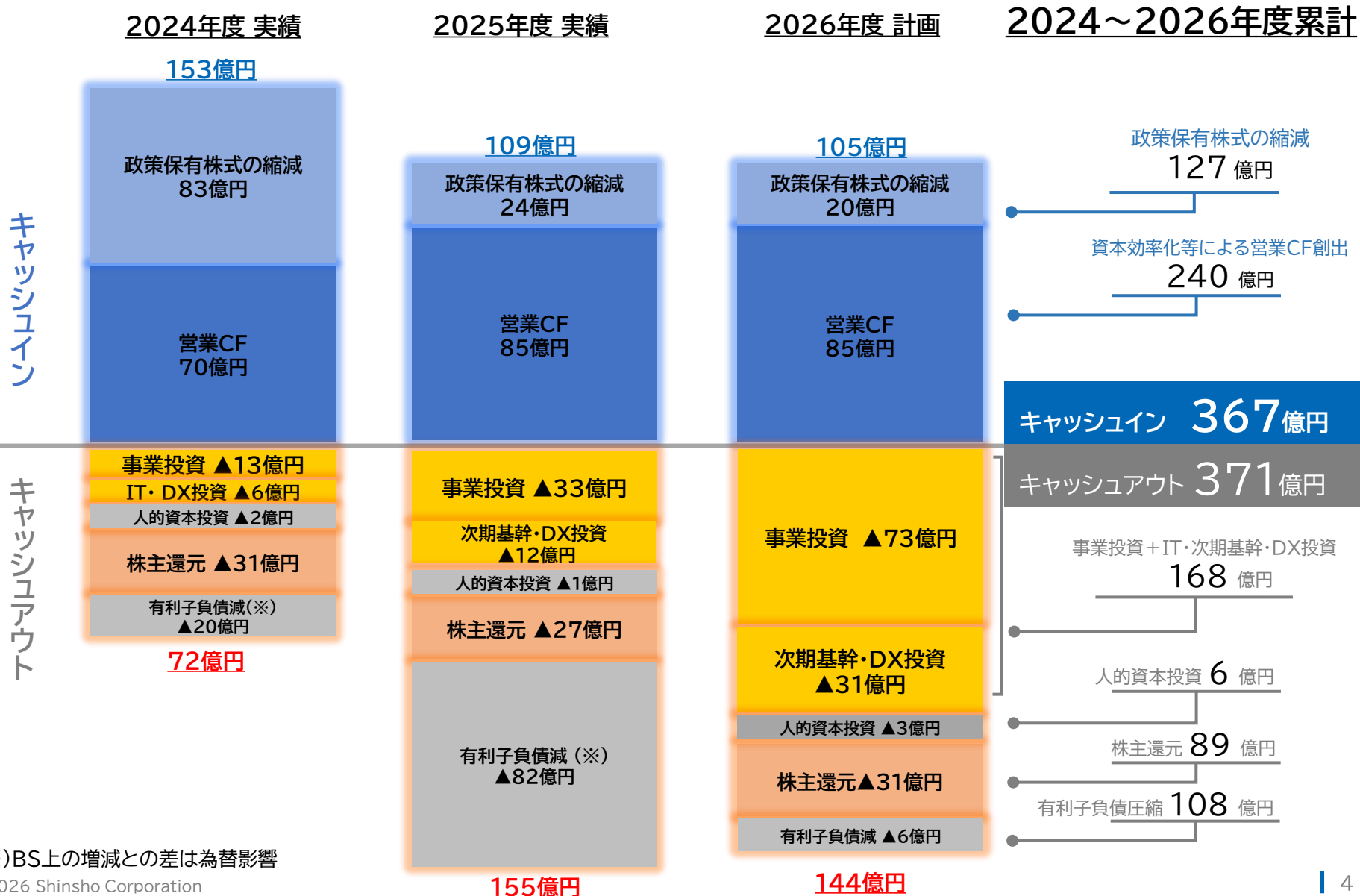
5.9 %

前年比：+0.8 %

## 配当

130 円

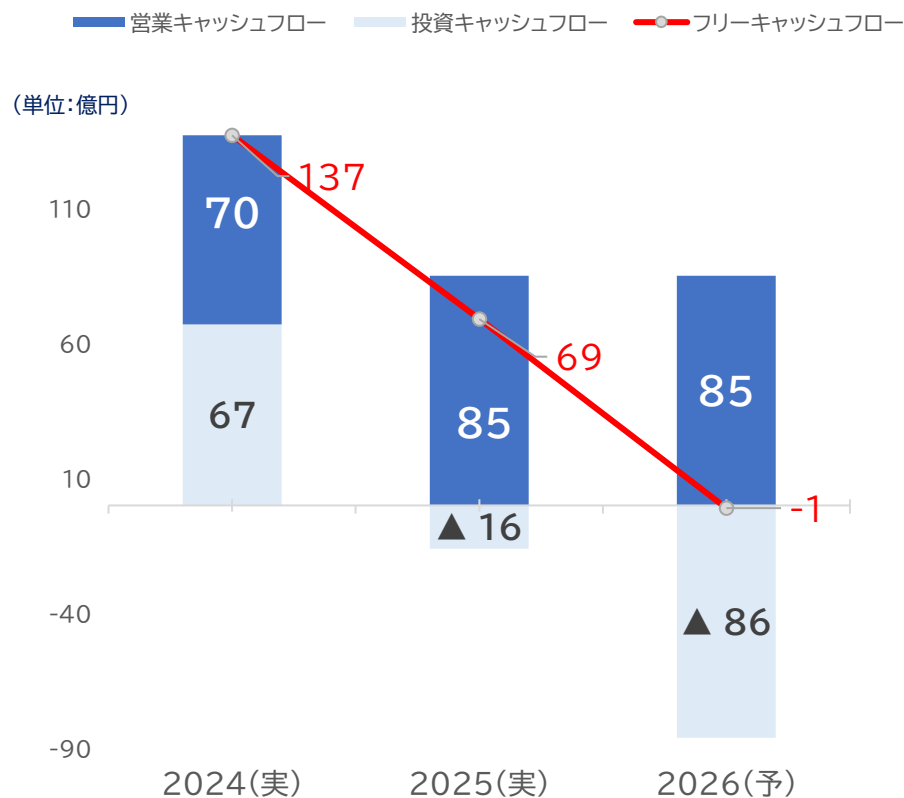
※創立80周年記念配当26円含む



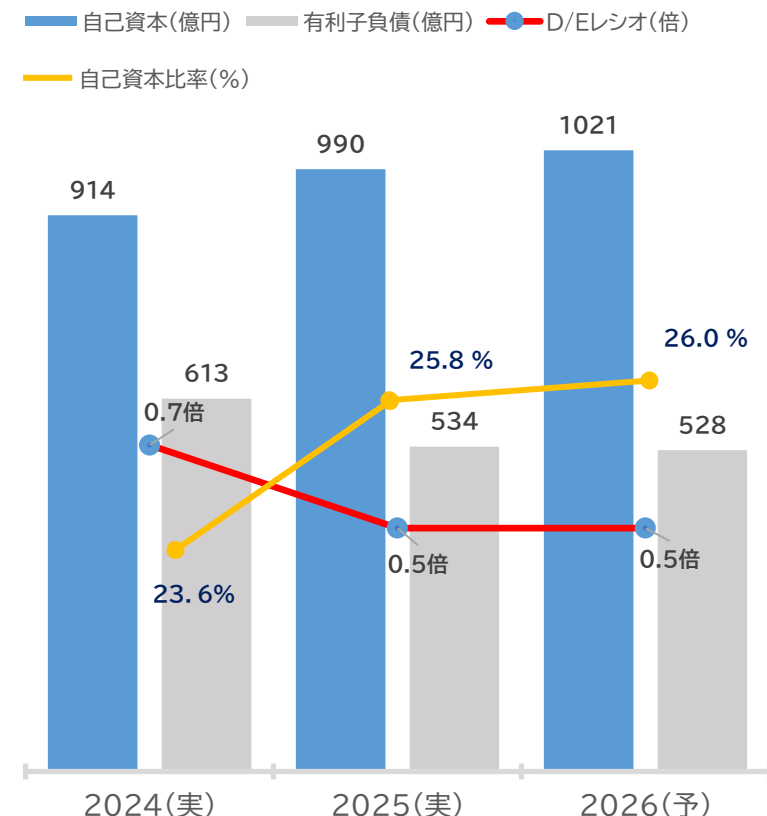
(※)BS上の増減との差は為替影響

- 創出されたフリーキャッシュフローにより外部有利子負債を534億円に圧縮  
D/Eレシオは0.5倍に改善(NET D/Eレシオは0.36倍)
- 自己資本の積上げや総資産の増加を抑制したことにより自己資本比率は、25.8%に改善

## フリー・キャッシュフローの推移



## 自己資本、有利子負債、D/Eレシオの推移



# 3つの柱と成長分野における投融資等取組み状況

● 鉄鋼ユニット ● アルミ・銅ユニット ● 原料ユニット ● 機械ユニット ● 溶接ユニット ● 新事業推進室



投資計画 3カ年合計  
(2024年度~2026年度)

利益貢献額※ 3カ年合計  
(2024年度~2026年度)



285億円 ※意思決定ベース

117億円

168億円  
(キャッシュアウト)

主な意思決定ベース内訳

半導体	神商精密㈱の設備投資時期ズレ
ものづくりの現場	工事・エンジニアリング会社M&A
IT	基幹システム刷新PJ

34億円

15億円

19億円

37億円

18億円

19億円

今中計期間中の投資  
による利益貢献額

21~23年の投資  
による利益貢献額

中期経営計画

最新見通し

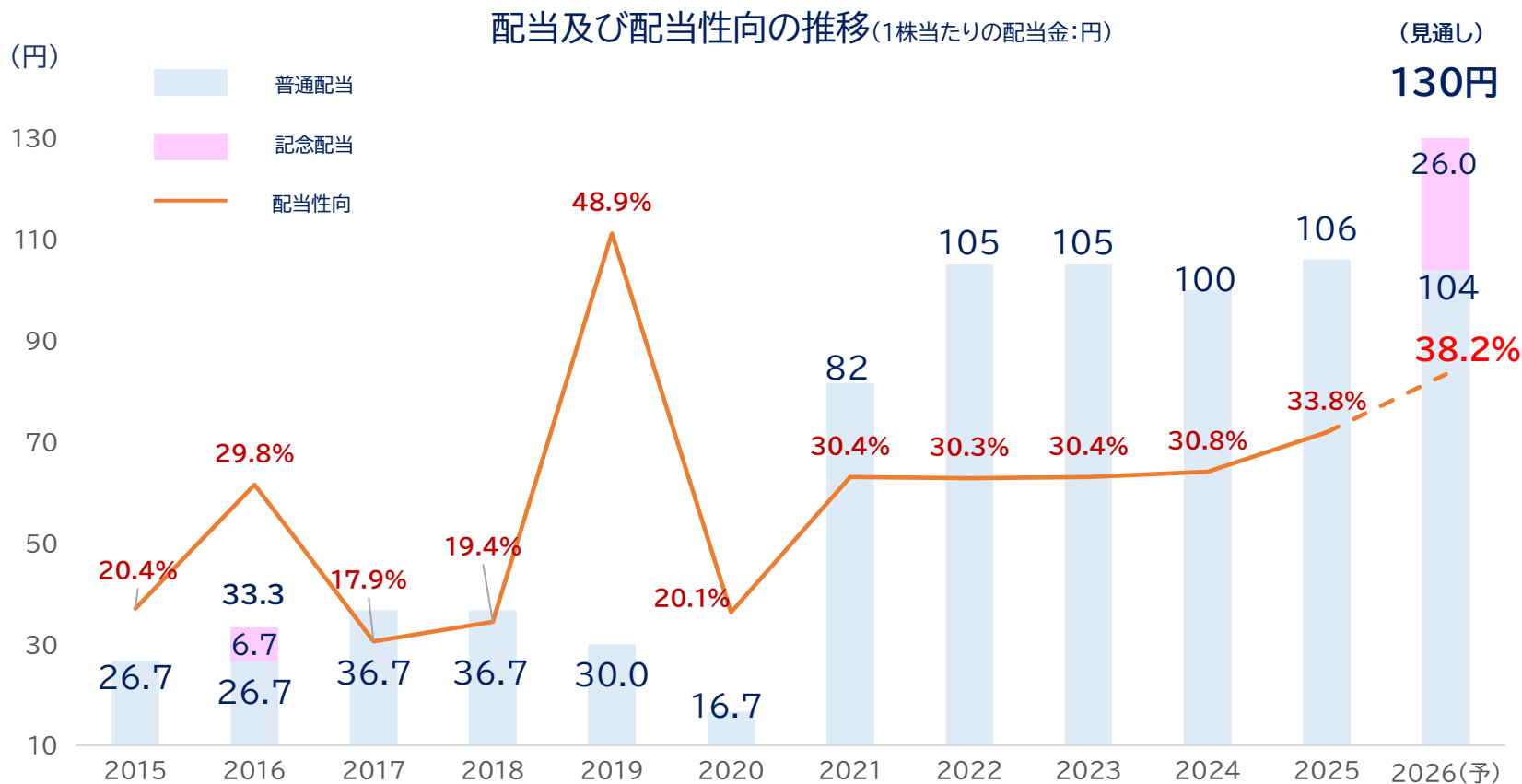
25年3月期時点の公表値

最新見通し

(※)意思決定ベース:26年度までに投資の意思決定は行うが、キャッシュアウトが27年度以降となる案件

(※)利益貢献額:連結子会社の経常利益、持分法適用会社の持分法投資損益、設備投資による収益増加分、等

- 配当方針は、「連結配当性向 30%以上、または 1 株あたり配当100 円のいずれか高い方とする」としております
- 2026年度の年間配当金は、創立80周年を記念し、普通配当104円に、記念配当26円を加えて、年間配当130円とします。(中間65円、期末65円)



※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2015年～2024年のグラフについては、3分割調整後のグラフとしております。

CONTENTS

2025年度 決算概要

# 2025年度実績 損益計算書

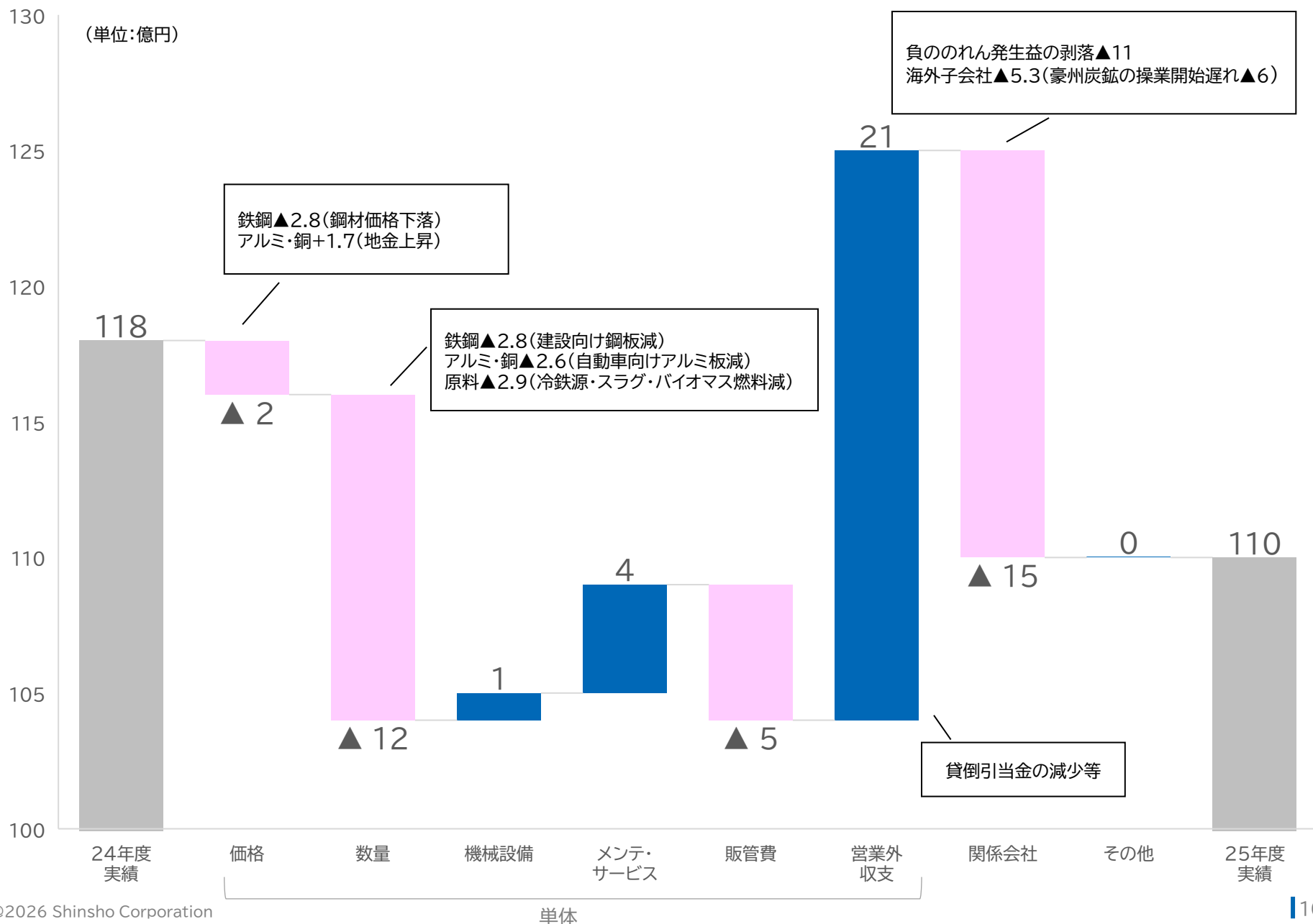
- 国内の化学、産業機械、カーボンニュートラル分野において設備投資が堅調に推移し、機械販売およびメンテナンスサービスが増加
- 自動車生産台数は前年度並みで、特殊鋼線材は健闘も、建設向け鋼板が減少  
鋼材価格下落の影響も重なり減収・減益
- 国内のバイオマス発電所及び豪州炭鉱の操業開始遅れ
- 貸倒引当金の減少により営業外収支改善

(単位:億円)

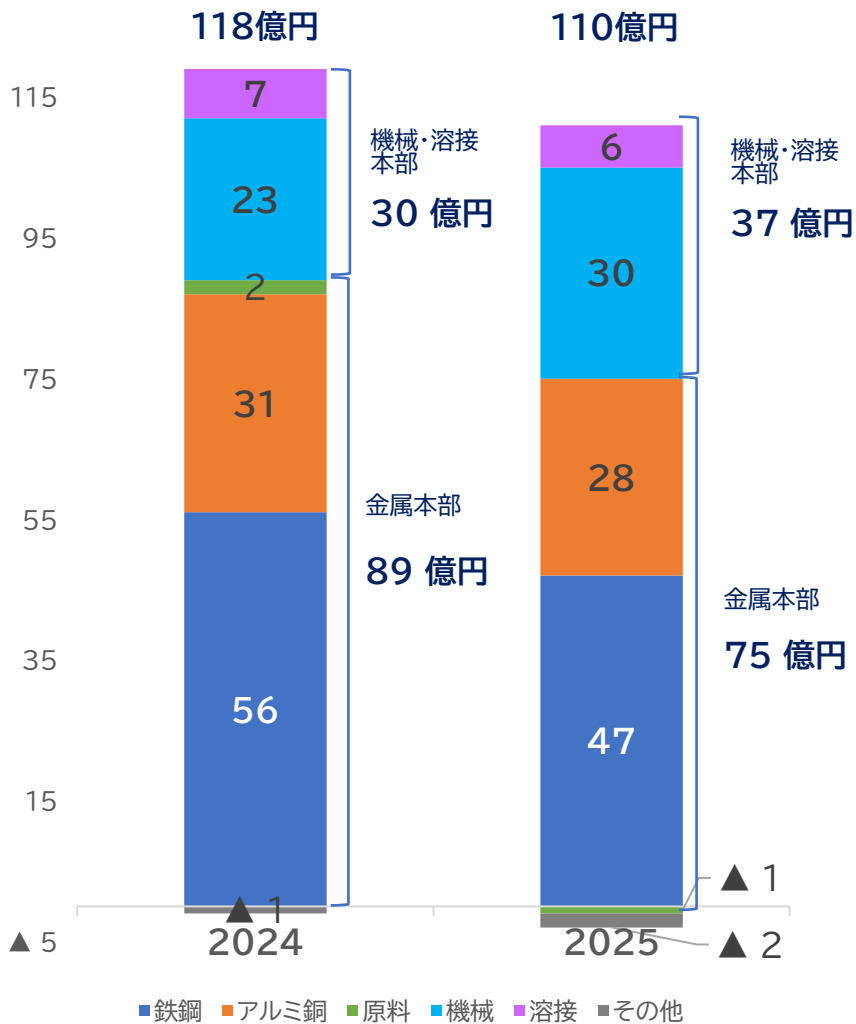
	2024年度 実績 ①	2025年度 実績 ②	増減額 ③=②-①	増減率 ④=③/①	2025年度 公表値 ⑤	増減額 ⑥=②-⑤
売上高	6,172	6,081	▲90	▲1.5%	6,370	▲289
売上総利益	404	395	▲9	▲2.3%	400	▲5
販売管理費	272	279	+7	2.6%	280	+1
営業利益	132	116	▲16	▲12.5%	119	▲3
経常利益 (経常利益率 %)	118 (1.9%)	110 (1.8%)	▲7 (▲0.1%)	▲6.3%	120 (1.9%)	▲10 -
親会社株主に帰属する 当期純利益	86	83	▲3	▲3.2%	92	▲9
1株当たり 当期純利益 (円)	324.24円	313.65円	▲10.6円	▲3.3%	348.00円	

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2024年度の1株当たり当期純利益は 3分割調整後 の数値としております。

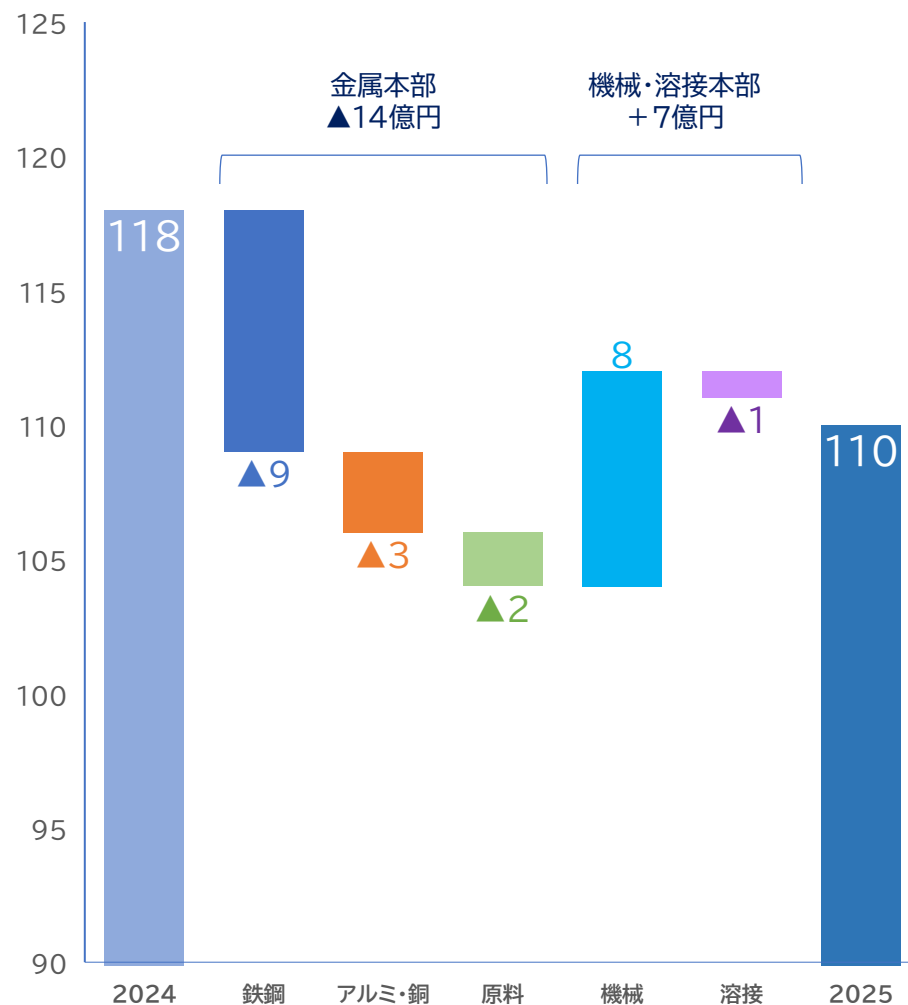
# 2025年度業績: 経常利益 前年同期比



## ユニット別経常利益 比較 (単位:億円)



## ユニット別経常利益 増減 (単位:億円)



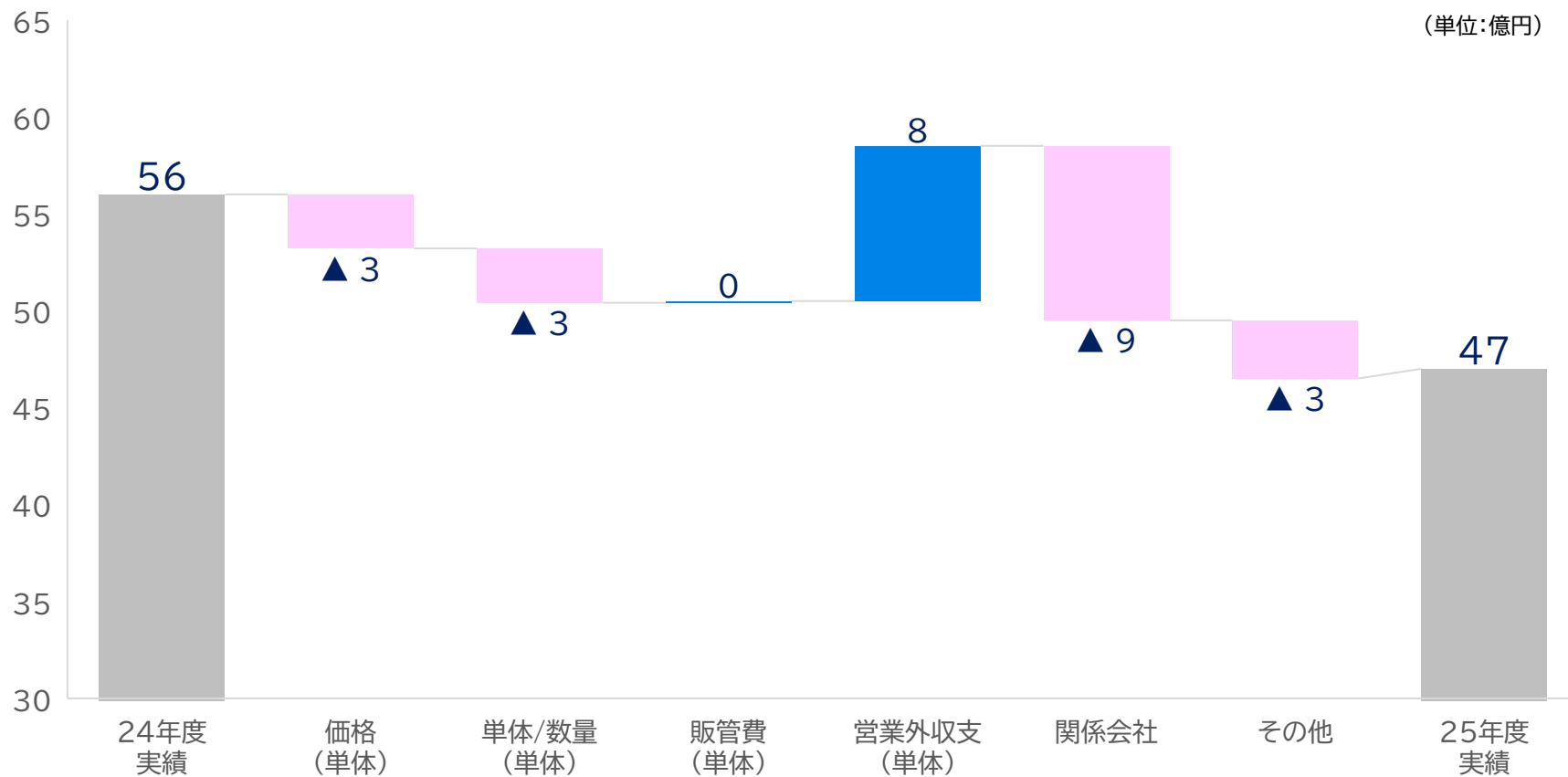
## 鉄鋼

### 増減要因

【単体】 建材分野の需要低迷による鋼板の減少に加え、鋼材価格下落の影響も重なり減益

投資先からの受取配当金が増加

【関係会社・その他】 持分法適用会社の負ののれん発生益の剥落により減益

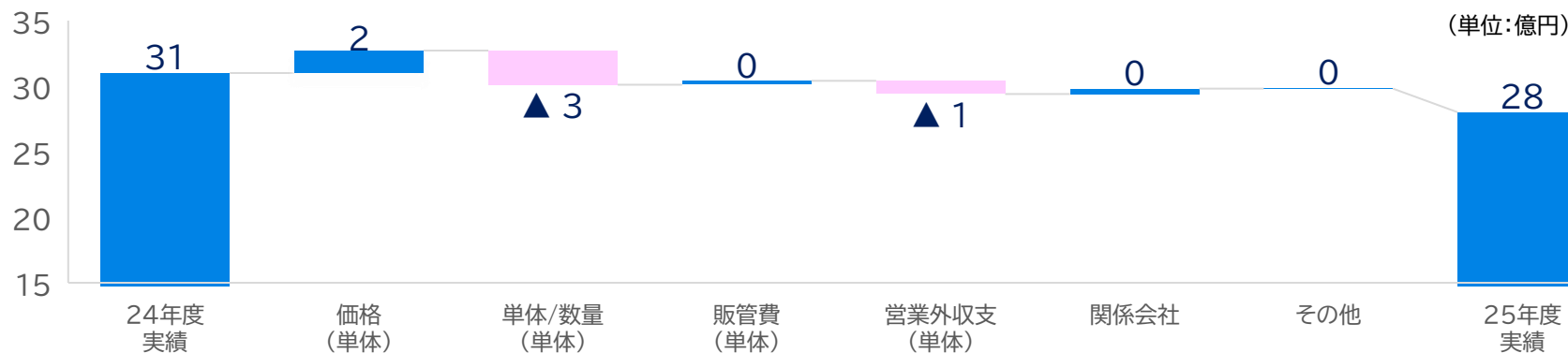


## アルミ・銅

### 増減要因

【単体】地金上昇による増益影響はあったものの、自動車向けアルミ板の取扱数量減少等により減益

【関係会社】半導体分野の取扱い減少に伴い減益

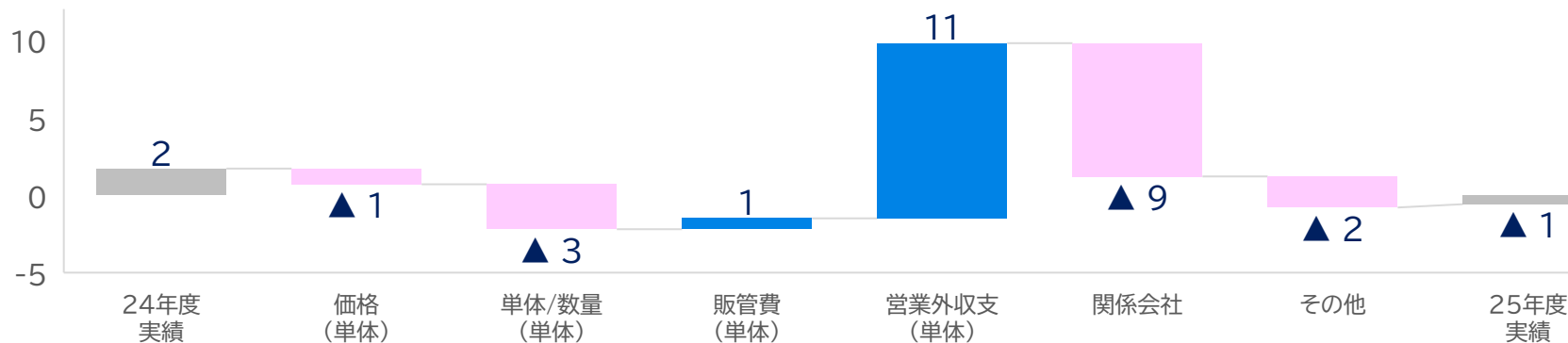


## 原料

### 増減要因

【単体】取引先の操業低下に伴いバイオマス燃料の取扱い減少の影響はあるものの、貸倒引当金の減少により増益

【関係会社】豪州炭鉱の操業開始遅れによる減益および前年度の一過性利益の剥落

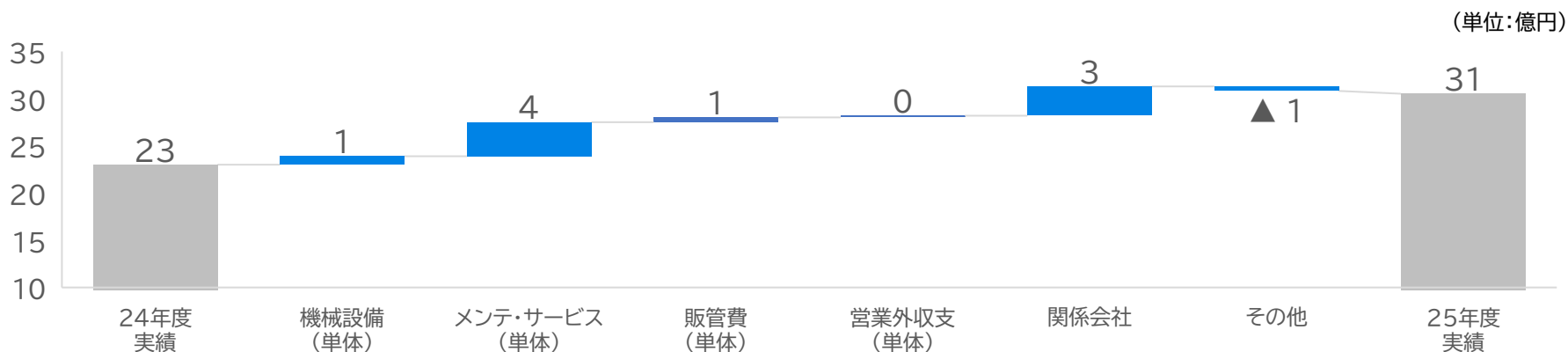


## 機 械

### 増減要因

【単体】ヒートポンプや非汎用圧縮機等の機械販売に加え、メンテ・サービスも好調に推移。

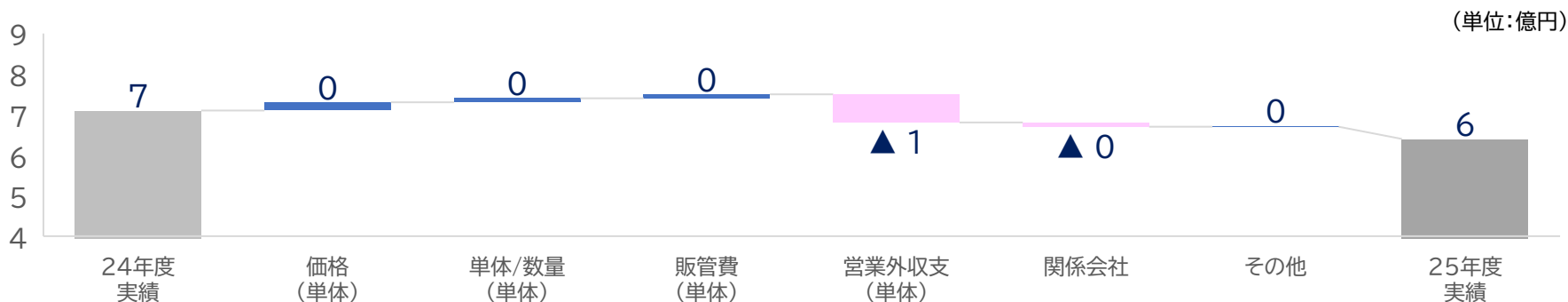
【関係会社】国内子会社マツボーの受注好調に加えて、中国では、建機部品ビジネスで増益。



## 溶 接

### 増減要因

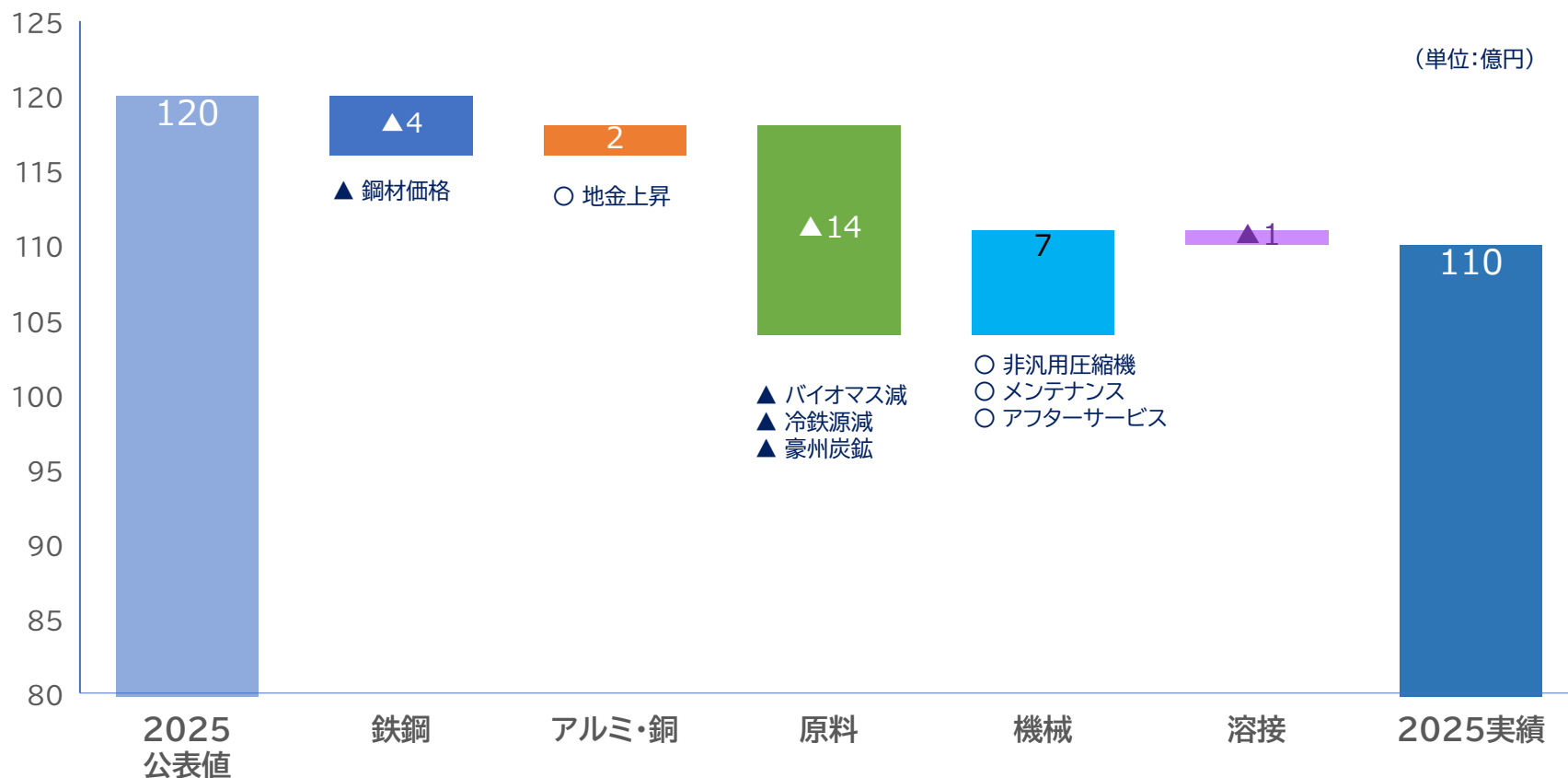
【単体】溶接材料は価格上昇も、取扱量は減少。



# ユニット別経常利益 2025年度公表値 vs 2025年度実績

## 【主な増減要因】

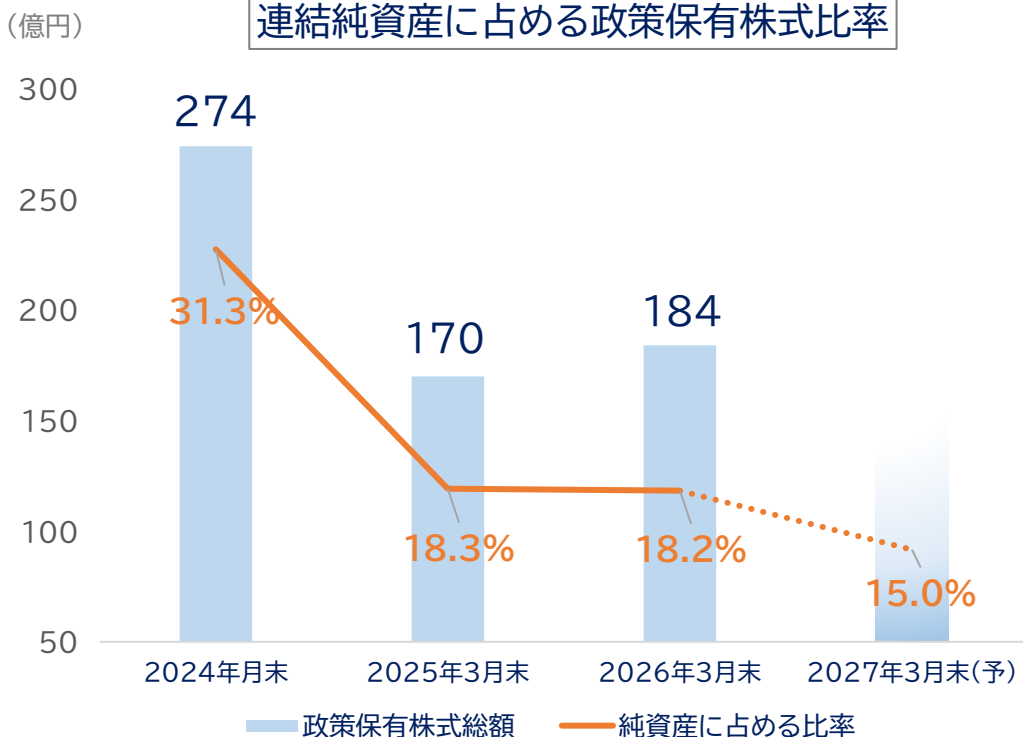
- 鉄鋼ユニット: 建設向け鋼板の取扱減、価格下落により減益
- 原料ユニット: バイオマス発電所や豪州炭鉱の操業再開の遅れで、減益
- 機械ユニット: カーボンニュートラル影響で需要旺盛な非汎用圧縮機およびメンテナンスの取扱いが増加し、増益



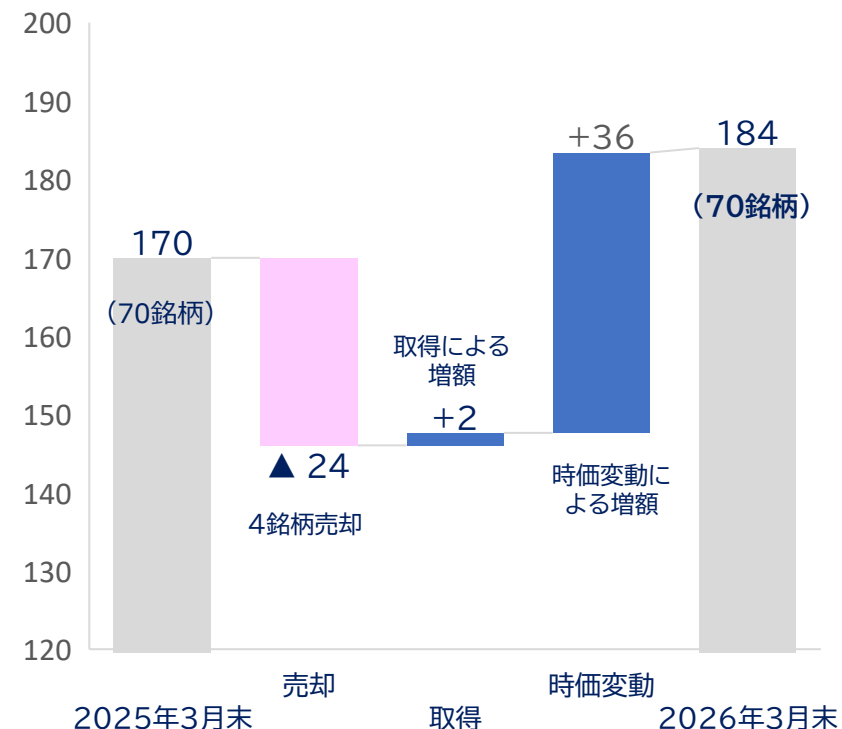
【縮減方針】2027年3月期までに連結純資産に対する政策保有株式の割合を15%以下とすること、また、将来的には、政策保有株式の同割合を10%以下とすることを目指します。縮減によって得られた資金は、成長投資などに活用してまいります。

- 2025年度は、4銘柄 24億円を売却 ※一部売却含む
- 保有残高の連結純資産比率は、18.2%

政策保有株式額  
連結純資産に占める政策保有株式比率



(億円) 2025年度政策保有株式総額残高の増減



※2026年3月末 みなし保有残高 : 該当事項は有りません

# バランスシートの状況（前期比）

(単位:億円)	2024年度 3月末 (2025/3月)	2025年度 3月末 (2026/3月)	増 減
流 動 資 産	3,375	3,302	▲73
固 定 資 産	493	534	+41
〔 内訳 有形・無形固定資産	107	112	+5
投資その他の資産	387	422	+36
資 産 合 計	3,869	3,836	▲32
流 動 負 債	2,722	2,574	▲148
固 定 負 債	217	253	+36
負 債 合 計	2,939	2,826	▲113
自 己 資 本	914	990	75
非 支 配 株 主 持 分	15	20	5
純 資 産	930	1,010	80
外部有利子負債	613	534	▲79
自己資本比率	23.6%	25.8%	2.2%
D/Eレシオ	0.7倍	0.5倍	▲0.1倍
1株当たり純資産(※)	3,461.4円	3,746.0円	
期末株価(※)	1,914円	2,292円	
PBR	0.55倍	0.61倍	

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、1株当たり純資産と期末株価については、3分割調整後の数値を記載しております。

CONTENTS





2026年度 業績見通し

## 【前提条件】

為替レート : 1USD=145円を想定。

※為替感応度: ±40百万円/1円の為替変動



業界	2026年度想定	
自動車		日系自動車生産台数は、前年比、横ばいの見通し
半導体		AI・データセンター・半導体製造装置向け製品は好調 自動車用パワー半導体向けの銅製品は依然低調
資源リサイクル		冷鉄源は国内、海外ともに低調 国内アルミスクラップは、地金高騰の影響を予想
エネルギー (バイオマス)		取引先の操業回復により、バイオマス燃料の取扱いは増加

※ 事業環境想定は神鋼商事グループを取り巻く事業環境で、必ずしも一般的な事業環境とは一致しません。

## 【参考】 中東情勢による業績への影響について

原油・ナフサのサプライチェーンの混乱や海上運賃の上昇等により、生産やコストに影響する可能性はありますが、現時点で業績に重大な影響を与える事象は確認されておりません。

# 2026年度 業績予想 ユニット別経常利益増減

(単位:億円)		2025年度	2026年度見通し	増減額	増減率
金属	鉄鋼	47	39	▲8	▲17.7%
	アルミ・銅	28	27	▲1	▲4.8%
	原料	▲1	9	+10	—
	小計	75	75	▲0	▲0.2%
機械・溶接	機械	31	31	+1	+1.8%
	溶接	6	9	+3	+41.1%
	小計	37	40	+3	+8.6%
その他	▲2	0	+2	—	
合計	110	115	+5	+4.3%	

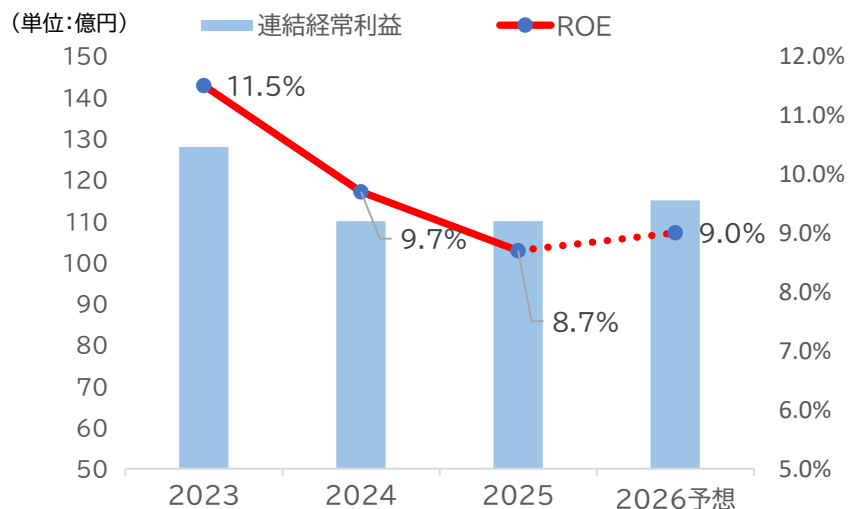


CONTENTS

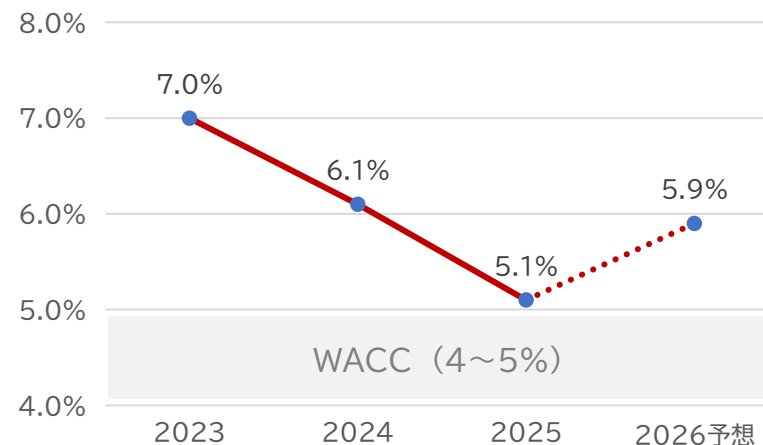
中期経営計画の進捗状況

	初年度		計画2年度	最終年度	
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
	実績	実績	実績	当初計画	見通し
連結経常利益	128 億円	118億円	110億円	145億円	115億円
ROE	11.5%	9.7%	8.7%	10.0% 以上	9.0%
ROIC	7.0%	6.1%	5.1%	6.5%	5.9%
自己資本比率	21.7%	23.6%	25.8%	21% 以上	26.0%
外部有利子負債	606億円	613億円	534億円	(D/Eレシオ0.7倍以下を目安とし、資金調達を最適化)	
D/Eレシオ	0.7 倍	0.7倍	0.5倍	0.7倍以下目安	

### 連結経常利益とROEの推移

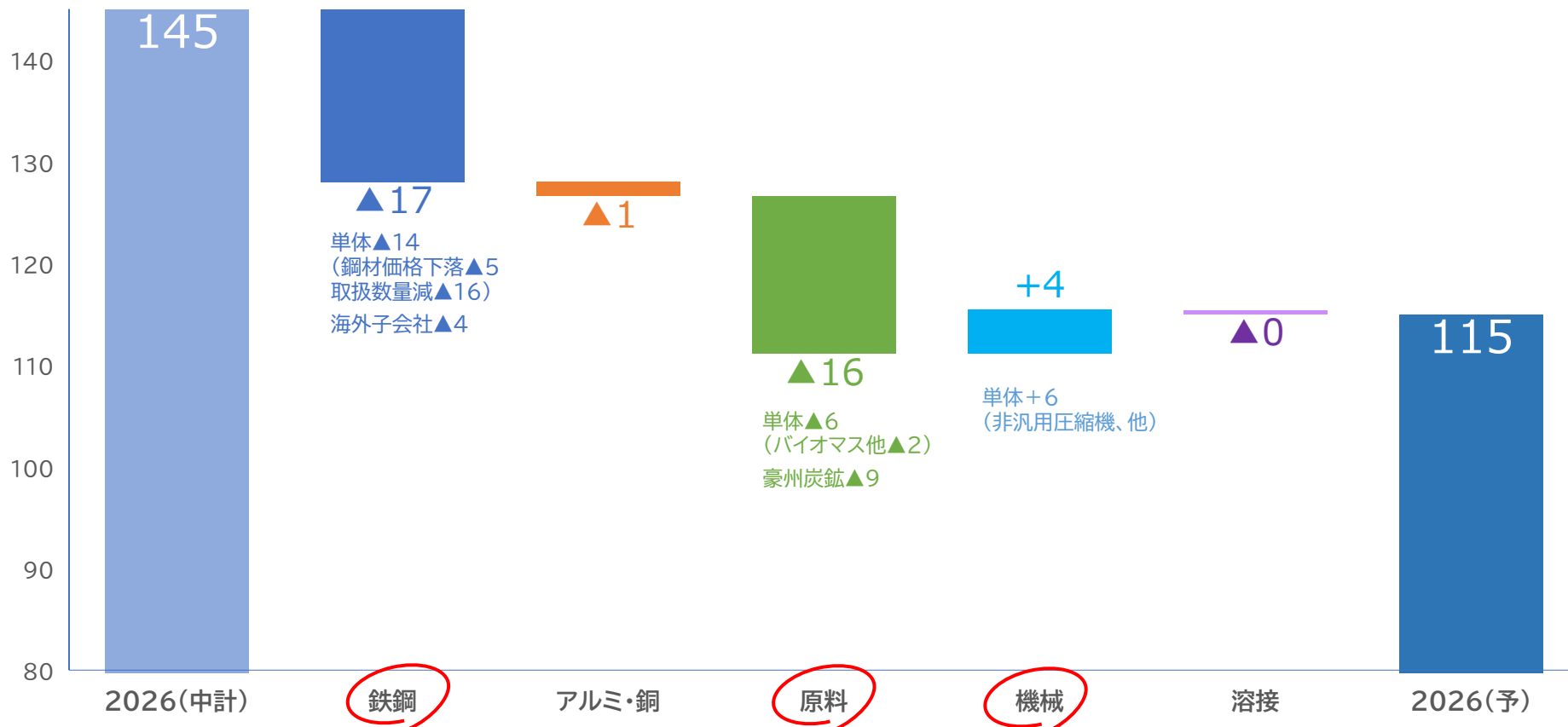


### ROICの推移



# 中期経営計画の進捗状況 2026年度予想との差異

- 26年度中期経営計画と26年度予想との差異は、鉄鋼および原料を中心に発生
- 鉄鋼は、主に鋼材価格下落や日系自動車向け及び建設向け鋼板の販売減少により減益
- 原料は、取引先バイオマス発電所の操業停止および豪州炭鉱の操業不調により減益
- 機械は、カーボンニュートラルの高まりにより、非汎用圧縮機やヒートポンプといった脱炭素関連機器の取扱いが増加したことに増益



## CONTENTS

### 成長分野における投融資

- 石炭代替燃料製造事業(ブラック・ペレット事業)
- アルミ資源循環ビジネス



## 石炭の使用量を抑制し、CO<sub>2</sub>の排出を低減

- ・ 廃棄されている未利用バイオマス(樹皮)からバイオマス燃料を製造する先駆的な事例
- ・ 国内原料、国内消費の地産地消サプライチェーンを構築
- ・ 拡張性があり、国内外の原料発生地域で事業展開を検討

### 事業概要

会社名	ローカルエナジーシステム株式会社
本社所在地	大阪府大阪市
株主	株式会社熊谷組 神鋼商事株式会社 清本鉄工株式会社
工場名	西条工場
所在地	愛媛県西条市
竣工予定	2026年7月
敷地面積	12,000 m <sup>2</sup>
製品	ブラックパークペレット
年間生産量	30,000 mt
原料	樹皮(パーク)

国際バイオマス展 出展の様子



西条工場外観(建設中)



## 低品位アルミ屑の高度選別により、展伸材(圧延)用原料にアップグレード

- 海外流出(約40%)を減らし、国内での資源循環を促進
- 低品位アルミ屑を鋳物用と展伸材用に選別することは、先駆的な取り組み
- 拡張性があり、スクラップ集荷地域で更なる事業展開を検討

### 事業概要

会社名	Vesper Metals株式会社
本社所在地	東京都中央区京橋 1丁目7番2号
株主	神鋼商事株式会社 田口金属株式会社
稼働予定	2027年10月
年間生産量	15,000mt
売上高目標	約61億円
事業内容	非鉄金属スクラップの高度選別および選別済みスクラップの販売
原料	市中に出回る低品位なアルミスクラップ





## 自動・高度選別により「サッシ to サッシ」の水平リサイクルを実現

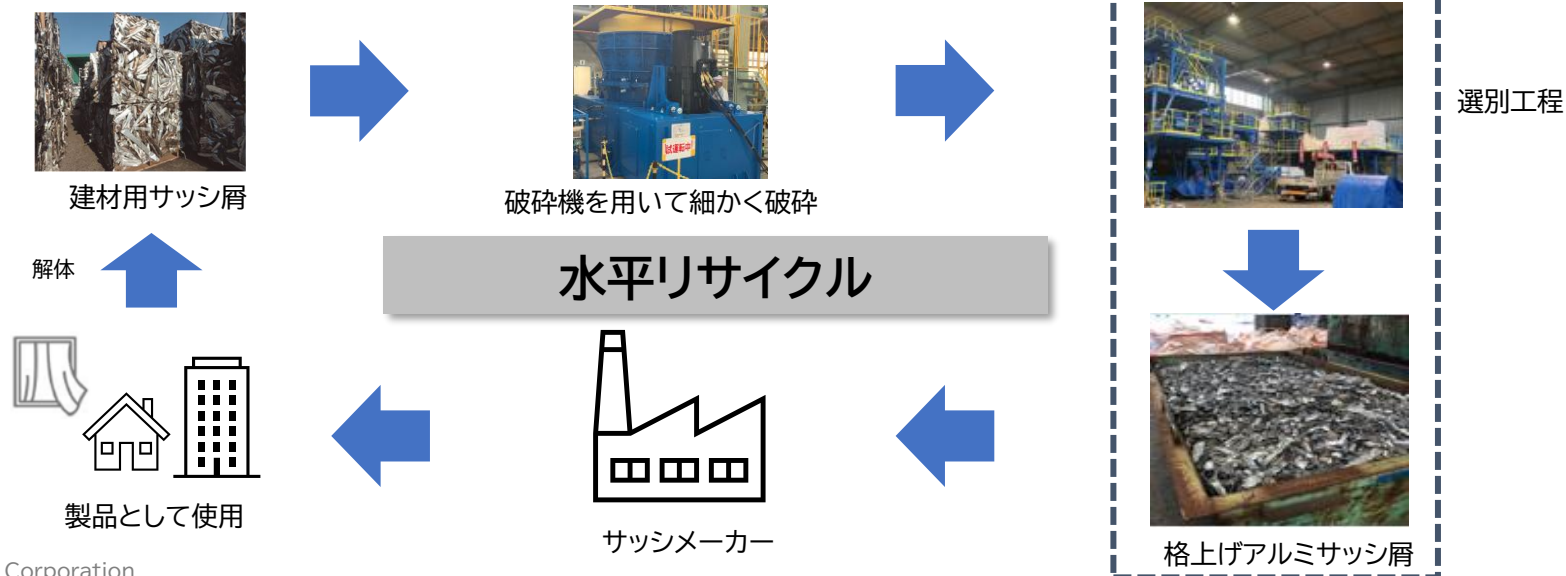
- ・ クルマ商事(富山県)をパートナーとして、建材用アルミサッシの水平リサイクルを事業化
- ・ 今後増加するサッシメーカーのリサイクル原料ニーズに対応

### 事業概要

事業地	富山県射水市(クルマ商事敷地内)
量産開始予定	2026年5月
年間生産量	7,200 mt
売上高目標	売上高:約27億円
事業内容	建材用アルミサッシの高度選別および選別済みアルミサッシの販売
原料	使用済のビス付きアルミサッシ



※5月11日開催「アルミサッシリサイクルプラント完成披露式典」の様子



CONTENTS

参考資料



神戸製鋼所の全額出資により大阪・北浜に  
太平商事(株)を創立  
東京支社を設立

## グローバル展開

1946

米国、タイ、中国、  
インド等を中心に  
グローバル拠点を  
拡大

## ●流通系

2011年

- ・(株)マツポーを子会社化

2014年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)  
を子会社化

2015年

- ・KTN Co., Ltd.を子会社化

2016年

- ・中山金属(株)を子会社化
- ・エスシーウエル(株)を子会社化

2019年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)  
と中山金属(株)を合併し、  
神鋼商事メタルズ(株)に社名変更  
非鉄子会社の流通再編

2023年

- ・稲垣商店を連結子会社化

## 事業投資促進

2010年代～

## ●ものづくり系

2018年

- ・森本興産(株)を子会社化

2021年

- ・神商精密器材(揚州)有限公司を  
子会社化
- ・TRACK DESIGN INDIA 設立  
アルミ水平リサイクル本格稼働

2022年

- ・脱炭素ファンドへの出資

2023年

- ・KTN METAL VIETNAMを設立
- ・ちとせグループへの出資開始

2026年 創立80周年

2024年

- ・アルミチャンバー合併会社設立  
(神商精密(株))  
アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・日本グラニューレーターを子会社化
- ・KGモーターズへの出資

2025年

- ・アルミ建材スクラップ格上げ事業  
アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・Vesper Metals 設立
- ・ローカルエナジーシステム 事業参画
- ・神林科晶新材料(AIP受託成膜加工事業  
合併会社) 設立

2026年

- ・ろう材の成形加工販売会社・金属溶材(株)  
を子会社化

100年  
企業へ

## 設立

1946年

## 従業員数

1,518名(連結)  
526(単体)

※2026年3月31日現在  
※臨時従業員数を含む

## グローバル拠点

77 拠点

※2025年3月31日現在

## グループ会社

国内19社／海外42社  
計61社

※2026年3月31日現在

## 神戸製鋼出資

35.9%

※神戸製鋼所とその子会社が、  
当社株式を保有する比率

## 市場名

東京証券取引所  
プライム市場  
証券コード：8075

## 連結経常利益

110 億円

※2025年度実績

## ROE・ROIC

ROE 8.7%  
ROIC 5.1%

※2025年度実績

## 1株あたり配当金

2025年度  
実績 106 円  
2026年度  
予想 130 円

※2026年度予想は、記念配当26円を含む

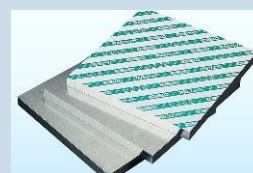
素材系

金属本部

鉄鋼ユニット

アルミ・銅ユニット

原料ユニット



機械・溶接本部  
33%

金属本部  
67%

経常利益  
110億円

※2025年度実績

28%

43%

26%

機械ユニット



溶接ユニット



機械系

機械・溶接本部

新事業推進室

社会的価値のある  
サステナブル新規事業

## 金属本部 (素材系)

## 機械・溶接本部 (機械系)

### 鉄鋼

### アルミ・銅

### 原料

### 機械

### 溶接

- 鉄鋼製品のサプライチェーンにおいて必要不可欠な存在として、加工機能、デリバリー機能、物流機能に加え、需要家の海外展開へのサポートなど安定的なサービスを提供

- 安全・安心な供給力を基盤に、技術やサービスを組み合わせ、「第二・第三の価値」を創出

- 長年培ったグローバルネットワークを活かし、安定供給を実現。
- メーカー商社として上流～下流までを熟知し、品質と付加価値にこだわった提案を実施

- 得意とするニッチな分野への専門性が高く、お客様のものづくりの課題解決。
- サプライチェーン強化に向けた提案力を持ち、取扱商品を通じてCO2排出量削減に貢献

- 幅広い製品ラインナップと専門知識を活かし、あらゆる現場に最適な材料と技術を提供

### 事業領域

- 自動車
- 建設
- 造船
- 機械

- 自動車
- 半導体
- 家電
- スクラップリサイクル
- 液晶ディスプレイ

- 鉄鋼
- 電炉
- 発電所

- 化学
- エンジニアリング
- 建機
- 食品
- 金属
- 電気・機械関連

- 自動車
- 造船
- 建設機械
- 鉄骨
- 橋梁

### 主要取扱製品

- 線材・条鋼
- 厚板・薄板
- チタン・ステンレス

- アルミ製品
- 銅製品
- 非鉄原料

- 鉄鋼原料
- 鉄スクラップ
- バイオマス燃料

- 汎用空気圧縮機
- 一般産業機械
- 建機部品

- 溶接材料
- 溶接機
- 溶剤原料
- ロボットシステム

## ■ 海外

### 欧州・中東・インド

- Kobelco Trading India Private Limited [グルガオン]
- ▲ Track Design India Private Limited [チェンナイ]
- Shinsho Europe GmbH [デュッセルドルフ]
- ドバイ事務所 [ドバイ]

### 北中米

- Shinsho American Corporation [デトロイト近郊、サウスカロライナ、ロサンゼルス]
- ▲ Grand Blanc Processing, L.L.C. [デトロイト近郊]
- Shinsho-Meihoku Wire, Inc. [コロンバス]
- ▲ Aiken Wire Processing, L.L.C. [サウスカロライナ]
- ▲ Dexter Fastener Technologies, Inc. [デトロイト近郊]
- ▲ Aiken Precision Technologies, L.L.C [サウスカロライナ]
- Shinsho Mexico S.A. de C.V. [グアナファト]



- 海外事業所
- 主要子会社 (販売拠点)
- ▲ 主要子会社 (加工・製造拠点)
- ▲ 主要関連会社 (加工・製造拠点)

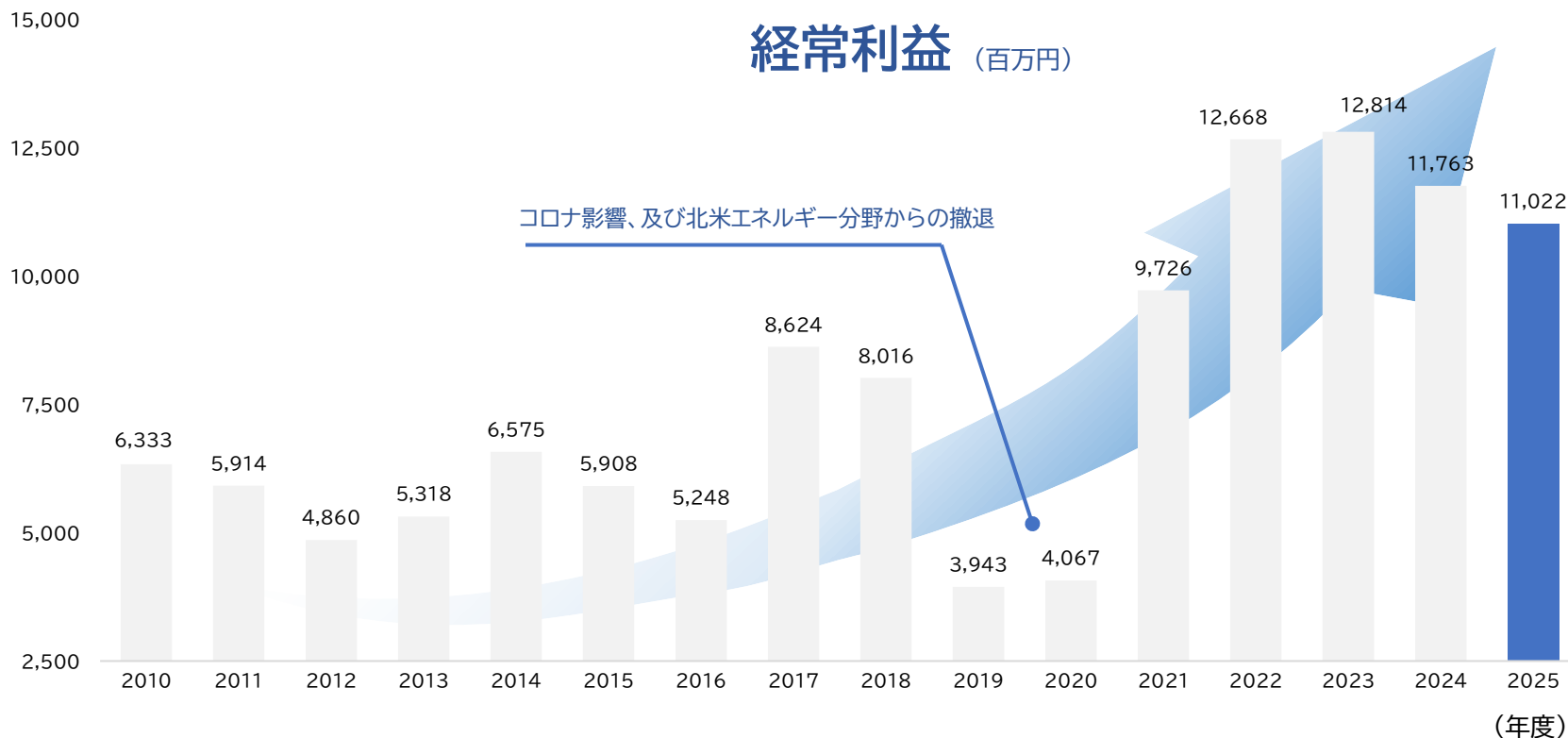
### アセアン・豪州

- Thai Escorp Ltd. [バンコク、ポーウィン、アユタヤ、アマタシティチョンブリ]
- TES E&M Service Co., Ltd. [バンコク]
- Shinsho Metals (Thailand) Ltd. [バンコク]
- ▲ Ondo Shinsho (Thailand) Co., Ltd. [ラヨーン]
- ▲ KTN Metal Vietnam Co., Ltd. [バクニン]
- Kobelco Trading Vietnam Co., Ltd. [ホーチミン、ハノイ]
- ▲ Vina Washin Aluminum Co., Ltd. [ビンドウオン]
- Shinsho (Malaysia) Sdn. Bhd. [クアラルンプール]
- ▲ Naito Asia Sdn. Bhd. [クアラルンプール]
- PT. Kobelco Trading Indonesia [ジャカルタ]
- PT. Shinsho Metals Indonesia [ジャカルタ近郊]
- Shinsho Moranbah Coal Pty. Ltd. [シドニー]
- Kobelco Trading Australia Pty. Ltd. [シドニー]

### 東アジア

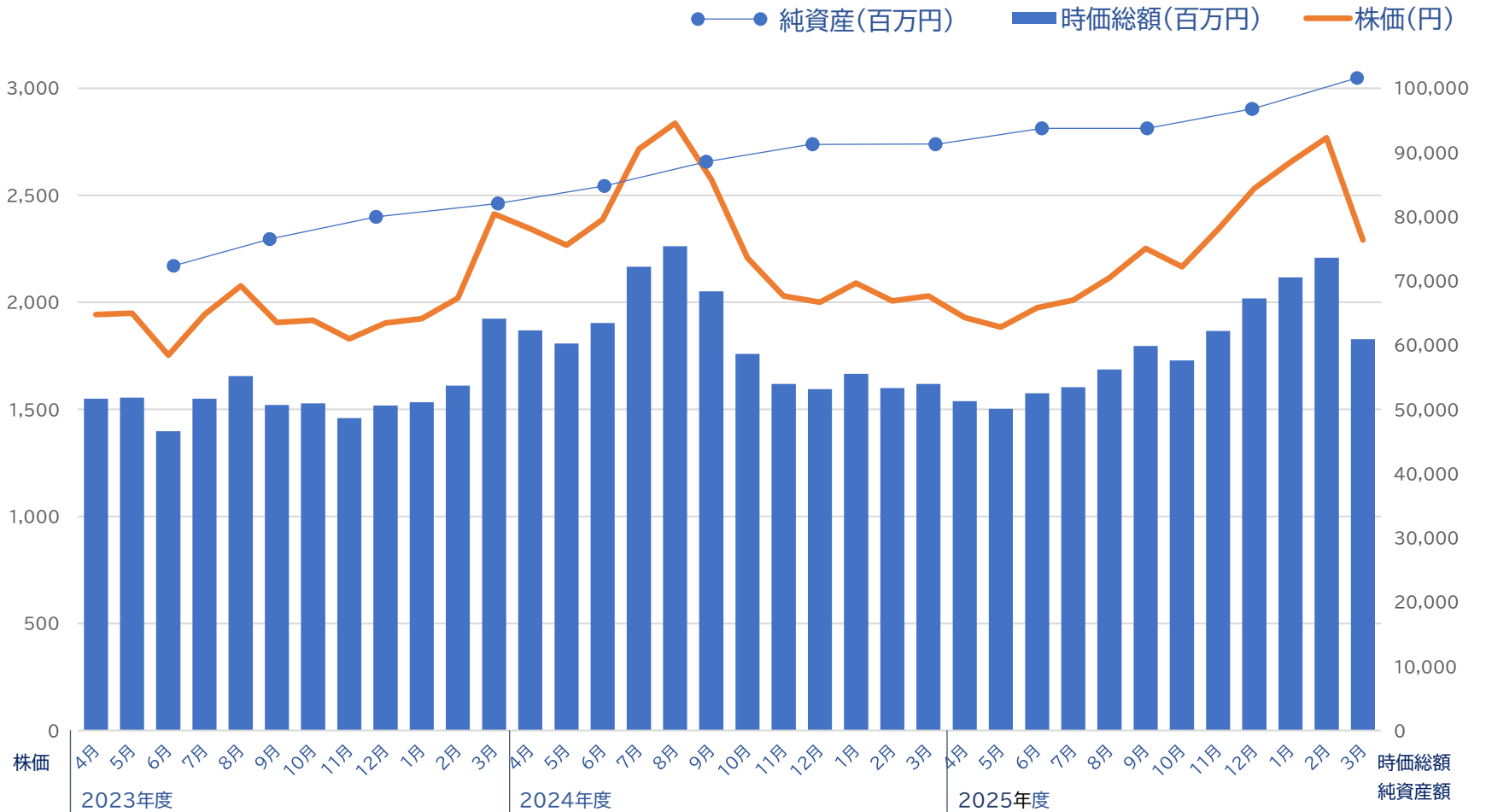
- 神鋼商貿(上海)有限公司 [上海、北京、広州、大連、武漢、天津]
- 上海神商貿易有限公司 [上海]
- ▲ 神商大阪精工(南通)有限公司 [南通]
- ▲ 蘇州神商金属有限公司 [蘇州]
- ▲ 神商精密器材(蘇州)有限公司 [蘇州]
- ▲ 神商精密器材(揚州)有限公司 [揚州]
- 神商金属制品(上海)有限公司 [上海]
- ▲ 神鋼特殊鋼線(平湖)有限公司 [上海近郊]
- ▲ VSC Shinsho Co., Ltd. [香港]
- ▲ 広州神昌金属製品有限公司 [広州]
- 韓国神商(株) [ソウル]
- ▲ KTN Co.,Ltd. [ソウル近郊]
- ▲ Allmet Co., Ltd. [ソウル近郊]
- 台湾神商股份有限公司 [台北、桃園、新竹]

## 経常利益 (百万円)



	2010年度 (2011/3月期)	2020年度 (2021/3月期)	2025年度 (2026/3月期)	2010年度対比
経常利益	63億円	41億円	110億円	1.7倍
純資産額	261億円	572億円	1,010億円	3.9倍
時価総額	189億円	199億円	609億円	3.2倍

# 株価・時価総額の推移



## 企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、  
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

## パーパス

自ら変化に挑む  
人の力で価値をつくり・むすび・ひらき  
ワクワクする未来を創造する

本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。  
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。

お問合せ先：神鋼商事株式会社 総務部 IR・広報チーム



ir.shinsho@kobelco.com